

## 平成 30 年度第 1 回あしや子ども笑顔ネット会議会議録

日 時：平成 30 年 4 月 25 日（水）15 時～17 時

場 所：ウィザスあしやセミナー室

出席者：朝倉己作（(特活)芦屋市手をつなぐ育成会）金木友子（精道中学校精中応援隊コーディネーター）小泉星児（芦屋市商工会青年部）辻本久夫（こくさいひろば芦屋）長城紀道（芦屋法律事務所）奈良雅美（(特活)あしやNPOセンター）芦屋市企画部市民参画課 浅野課長 飯星課員

事務局：芦屋市立あしや市民活動センターリードあしや 橋野

欠 席：宇佐見裕子（精道小学校 smile ネット）宮平太（芦屋市社会福祉協議会）

ゲスト：特定非営利活動法人キャンピズ 就労継続支援 B 型事業所 ウィズ芦屋  
管理者 阪田 昌三 氏

### 1 前回の協議

#### (1) 子ども食堂について

- ・クラーク記念国際高等学校の取り組み

平成 29 年 10 月からの取り組み

名称：キッズスペース 目的：クラークの生徒と精道小学校の児童との交流

運営：クラークの生徒（ボランティア）20 名と教師 2 名 栄養士の支援

対象：精道小学校 4 年～6 年 限定 15 名

内容：16 時～18 時 勉強 18 時 30 分～19 時 30 分 食事 20 時まで解散

実績：11 月 6 人 12 月 8 人 1 月 10 人

今後：平成 30 年 6 月 8 日(金)～2 月 8 月は休み

- ・上宮川文化センターは、検討していない。

- ・高浜 1 番社会福祉複合施設

平成 30 年 11 月 1 日開所予定

運営：社会福祉法人 山の子会（芦屋市の事業）

対象：市内在住 生活困窮家庭の小学生～高校生

施設全容：P F I 導入（民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う）全障害者の受け入れをする施設

- ・ 7、8 人のグループホーム（認知症等）

- ・ 高齢者サービス

- ・ 24 時間コールセンター

- ・ 1 階 4 階にカフェコーナー

- ・ UR 住宅と武庫川女子大学との協働事業はない。

## (2) 防災関連

資料：平成 28 年度阪神間 7 市 1 町の要援護者数及び避難所備蓄状態

災害時の避難について アンケート結果（芦屋市手をつなぐ育成会）

災害支援の現場で私たちはどう動く？（(特活)あしやNPOセンター）

- ・避難所備蓄状態に疑問、要援護者として外国人は入っているか（兵庫県はカウント）市民参画課から防災安全課に問い合わせる。
- ・市外の福祉避難所の受け入れ先として豊岡市との協定を希望している。
- ・以下現在の芦屋市の福祉避難所（追記）

保健福祉センター、みどり地域生活支援センター

アクティブライフ芦屋（岩園町）アクティブライフ山芦屋（山芦屋町）

あしや（浜風町）芦屋アラベラの家（朝日ヶ丘町）あしや喜楽苑（潮見町）

あしや聖徳園（六麓荘町）エルホーム芦屋（浜町）マイホーム芦屋（陽光町）

陽光苑（陽光町）Les 芦屋（川西町）芦屋ケアセンターそよ風（松浜町）

芦屋ブーケの里（打出町）こころあい芦屋（岩園町）

## 2 ゲストスピーカーによる活動と事業構想案の紹介

### 1) 活動と事業構想案の紹介（ウィズ芦屋管理者 阪田 昌三 氏）

大阪を拠点に障がい者のキャンプを主事業として展開している。

大阪市平野区の子ども食堂のサポート（フードバンクと繋げるなど）をし、地域の活性化を図っている。

発達障害、精神障害など他者とのかかわりが苦手な人の居場所から就労場所へのステップアップ(通過事務所)の仕組みを考えている。

存在意義を高め、達成感のある仕事の在り方、地域の中での暮らし方を考えている。

定員 20 人、現在は 12 人登録しており、10 人程が通所している。芦屋特別支援学校の在校生は神戸市、西宮市からの学生がほとんどで芦屋市在住は少ない。職員は常勤 2 人、非常勤 5 人（芦屋市在住 主婦）

仕事としては、お菓子の梱包をライン作業で行っている。

芦屋市の福祉フェアにも昨年度は参加したが、施設同士のつながりは薄かった。芦屋市（障害福祉課）と芦屋市社協とのキャッチボールが、他市と比べて見え難く、相談から実施までに時間がかかりすぎるように感じた。

### 2) 意見交換

#### 【課題】

- ・芦屋市にはグレーゾーンの子どもの支援がない、ウィズあしやを紹介できるか。

→年齢 18 歳以上であれば可能。障害者手帳の提示は必要ないが、医師の意見書が必要である。利用者、就労者、様々な環境の人の受け入れができる。

- ・芦屋市には計画相談があるが、実際は待ちの状態が続いている。
- ・障がい者の仕事後の集える場所がない。

#### 【解決策】

- ・ウィズ芦屋は地の利が良い（阪神芦屋から徒歩1分）ことから、夕方の学習支援ができれば、協働利用できる。（こくさいひろば芦屋、市内中学校等）
- ・芦屋市商工会に所属している事業所に、定期的な発注ができるところは少ないように思えるが、発行しているニュースレターに掲載は可能である。（但し、有料）
- ・芦屋市域の作業所を全て網羅し、仕事の相談を受けられるコーディネート拠点が必要ではないか。現在、障がい者の団体でネットワーク会議があるが、そこまでの話し合いの場がない。働きかけ（障害福祉課、全作業所、社協等）が必要。

### 3 その他

- ・芦屋市の教育現場

同室指導の評価は高い。特別学級 84 人。

精道小学校、中学校は既に学習支援をする団体がある。

山手小学校、中学校は学習支援団体が始まったようだ。

- ・若者相談センター「アサガオ」

電話受付：0797-22-5115 10：00-12：00 13：00-16：00（月・水・土）

問合せ：青少年愛護センター

### 4 次回の会議日程

7月4日、18日、25日（水）のいずれか MLで調整する。